

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

このニュースレターは、「国道241号(音更大通)に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を町民の皆様にお知らせするために作成し配布しているものです。

第3回懇談会

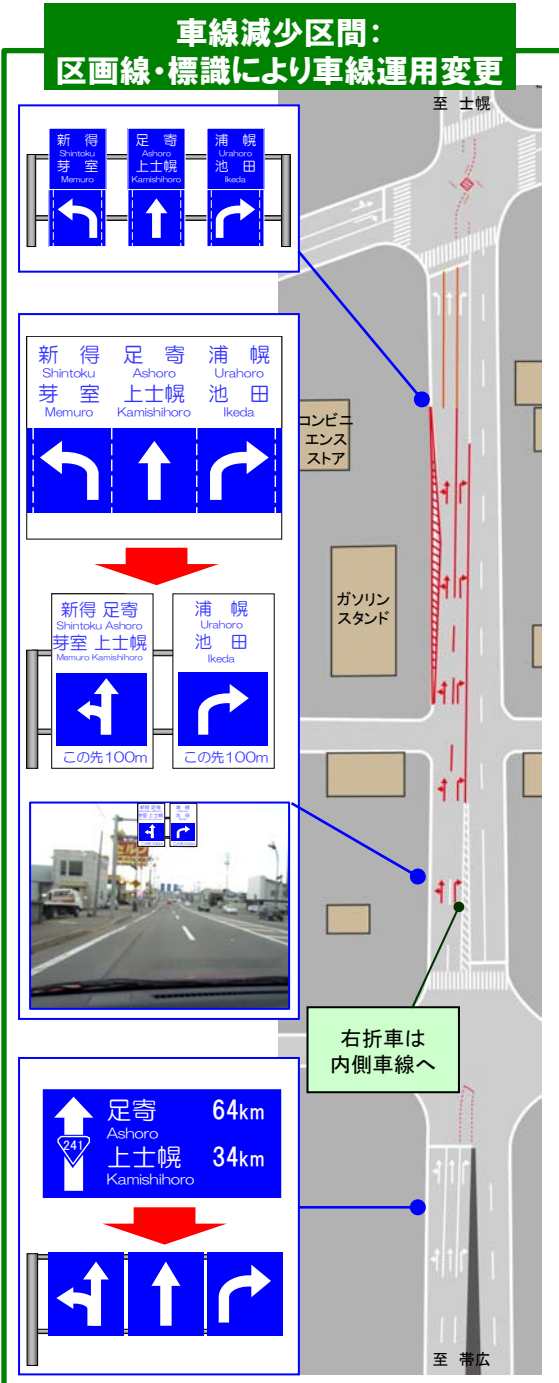
平成24年2月23日に第3回懇談会を開催しました。昨年9月に実施したアンケート調査の結果報告や、前回までにいただいた意見をもとに国道241号の交通課題解決に向けた短期的な取組、中長期的な取組について議論しました。

短期的な取組みの提案

■幅広2車線区間・車線減少区間の改善案

短期

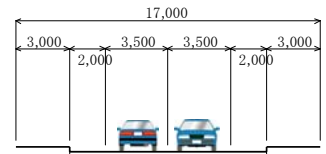
第2回懇談会で出された意見から、幅広2車線区間、車線減少区間(木野大通西2~3丁目)における短期的にできる具体的な対策案について議論しました。



沿道出入りの少ない箇所 外側線の設置



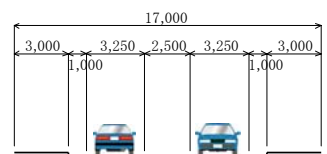
路肩走行が発生しないように路肩は2.00m



沿道出入りの多い箇所 中央帯(ゼブラゾーン)の設置



沿道施設への右折車両の後続車への影響を少なくするため、中央帯は2.5m



■住民・利用者との協働

今回実施する対策の内容・利用の仕方を地域住民・利用者の方々にどのように周知していけば、早期により効果的に浸透していくかといった、「協働」について議論しました。

※例：チラシを大型店舗にて配布など（右図）

チラシのイメージ

国道241号
音更町木野市街地において
車線運用を変更します！

平成24年〇月
実施予定！

現在
・幅広い2車線のため、無理な並走、追い越し、追い抜きが多発

改善します

・路肩を設け、対向2車線道路として明確にします。

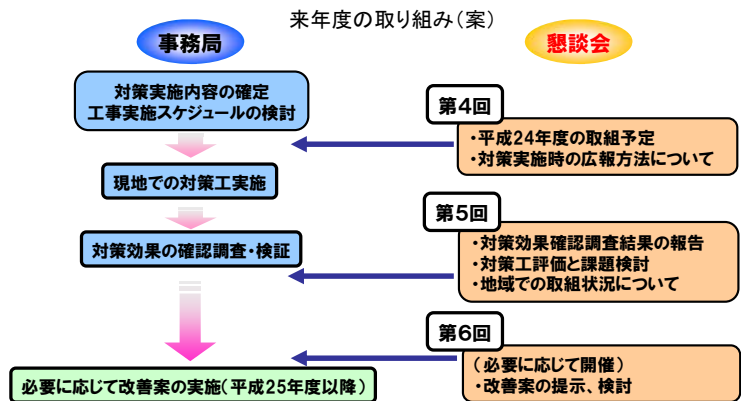
・沿道施設が多く立地する区間には路肩と中央帯を設け、左折車・右折車・直進車の安全性を高めます。

中長期的な取り組みの提案

短期的な対策のみで終わるのではなく、改善策のモニタリングと住民との協働、さらに沿道事業者との協働といった中長期的な取り組みについて議論しました。

- ・短期的対策の効果計測、新たな課題の抽出等を引き続き実施
- ・地域との懇談会を継続的に実施していく
- ・沿道施設出入口の集約など、沿道事業者との協働も考えていく

改善策のモニタリング内容例	
路肩の明確化	・車線の適正利用状況 ・交通混雑状況 ・事故の増減 ・利用者意見 等
中央帯の確保	・車線、中央帯の適正利用状況 ・交通混雑状況 ・事故の増減 ・出入口集約に向けた調整 ・利用者意見 等
車線運用変更	・車線の適正利用状況 ・交通混雑状況 ・事故の増減 ・利用者意見 等



懇談会参加者からの意見

【短期的な取り組みについて】

- ・車線減少区間における改善案は、右折を分離しながら、最終的に3方向に分かれる車線運用になっていて非常に良い。
- ・ゼブラゾーンの利用の仕方について、わかりやすい案内方法を検討して欲しい。
- ・慣れてくると、ゼブラゾーンを通常走行する車が出てこないか懸念される。
- ・ゼブラゾーンは右折時に利用するもので、普段は走行してはいけないということを強調すべき。
- ・積雪時における課題も考慮していくべき。
- ・周知はチラシや新聞、テレビなど利用できるものをフル活用すべき。
- ・まずはできることからやっていくということが重要。

【中長期的な取り組みについて】

- ・収集したデータを公開していく透明性も必要。
- ・道路管理者と沿道事業者の両方がプラスとなるような関係を作って行ければ良い。
- ・沿道事業者出入口の集約の際は、流入しやすい出入口を整備すべき。
- ・懇談会と沿道事業者との関わりの方法を考えていくべき。
- ・国道、道道が連携して、ネットワークの拡充をしていければ良い。
- ・来年度も懇談会が続くということで安心した。
- ・地域との協働は今後も継続して続けていくことが重要。

今回の懇談会は今年の夏頃を予定しています。今回出された意見をもとに、技術的な検討を重ねた改善案の実施内容のお知らせと事前周知の方法について議論する予定です。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】音更町建設水道部 都市計画課

北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111

TEL:0155-24-4106